

ワックス剥離作業時の 幅木の膨れと変形

トラブル事例 フロアコーティング

問題

ワックスの剥離作業で幅木が水を吸って膨れ上がってしまい、乾燥後も幅木が波打った状態で直りませんでした。

協会の見解

要因

MDF(中密度繊維板)製やパーティクルボード製の幅木は、木材繊維を圧縮して成形されているため、水分を吸収しやすい特性があります。一度水分を吸収すると繊維が膨張し、乾燥後も元の形状に戻らず、波打ちや変形が残ってしまいます。特に中古物件では、経年劣化により幅木表面の塗装や防水処理が弱まっている場合があり、少量の水分でも膨れや変形が発生しやすくなっています。



施工前の対策

幅木の材質や劣化状態を確認し、MDF製やパーティクルボード製の場合は水分浸透のリスクを認識。中古物件では事前にお客様へリスクを説明し了承を得る。



施工中の対策

幅木際での剥離剤や水の使用は最小限に抑え、幅木から5mm程度離れた位置で作業。幅木下部をマスキングテープで養生し水分の浸入を防ぐ。



施工後の対策

速やかに幅木周辺の水分を除去し、十分な換気を行って乾燥を促進。水分が付着した場合は直ちに乾いた布で拭き取る。

重要な注意事項

一度膨れてしまった幅木を完全に元の状態に戻すことは困難です。
お客様へ状況を丁寧に説明し、幅木の交換や補修などの代替案をご提案ください。